



あいじつ



開校 144周年

言葉の力

校長 水野 睦子

『ひとつのことばで』 作者不詳

ひとつのことばで けんかして
 ひとつのことばで なかなおり
 ひとつのことばで 頭が下がり
 ひとつのことばで 心が痛む
 ひとつのことばで 楽しく笑い
 ひとつのことばで 泣かされる

ひとつのことばは それぞれに
 ひとつの心をもっている
 きれいなことばは きれいな心
 やさしいことばは やさしい心
 ひとつのことばを 大切に
 ひとつのことばを 美しく

ある教室での一コマです。次は体育の授業のようです。「廊下に並びましょう。」先生の声が聞こえてきました。「あれ、赤白帽子がないよう。」ある男の子が泣きそうになりながら、探しています。そばにいた私が手伝おうとしたそのとき、同じ班の女の子がやってきました。「大丈夫だよ、きっとあるよ。」と一緒に探していると、着替えた服の中に紛れ込んでいるのを見付けて「ほら、あったよ。」「ありがとう。」「うん、行こう。」「本当にありがとうね。」見つけてもらった男の子はホッとした、そして嬉しそうな顔。お礼を言われた女の子の笑顔。

その光景を見て、私は男の子が伝えた「ありがとう」の言葉の響きの美しさを改めて感じました。つまり、「ありがとう」の響きもつ「言葉の力」です。言葉は大きな力をもっています。誰かの一言に励まされ、やる気が出ます。嬉しくなります。

しかし、恐いのはその反対の場合もあるということです。つまり、誰かの一言に深く傷つくことがあるのです。相手が傷つく言葉を使っていないだろうか、何気ない一言が相手を傷つけていないだろうか、ではどのような伝え方がいいのか等を考えさせていきます。

教職員一同「チーム愛日」として、言葉のもつ力を常に意識し、子どもたちの手本となるような美しい言葉を使って指導していく努力を、今後も続けてまいります。

外国語活動について

担当 山田 優希

今年度から、新たにRichard（リチャード）先生と一緒に、外国語の学習に取り組んでいます。

前期には、ALT や周りの友達とコミュニケーションを取ろうとしている姿がたくさん見られました。

低学年では、英語の音声やリズムにふれ、O×ゲームやキーワードゲーム等を楽しみながら活動しています。

中学年は外国語に慣れ親しみ、高学年はスピーチをしたり、ALT と会話をしたりする学習を通して外国語を身に付けています。

日常生活の中でも、外国語は様々な場所で使われています。身の回りにある外国語を見つけて、自分たちの生活にも言葉や文化が溶け込んでいることを感じてみましょう。

読書月間について

担当 小黒 靖子

11月6日(水)から読書月間が始まります。

図書委員会では、「いろいろな本を手に取り、読書に親しんでほしい」という願いを込めて、読書月間のテーマを「本に沼（ぬま）る～未知へのそうぐう～」と設定し、活動を計画しました。

期間中は図書室で『本の魚釣り』、『どうそのいす』、『読書ビンゴ』など、楽しい活動を行います。友達がお薦めする本や、これまで読んだことのないジャンルの本に出合うチャンスです！たくさんの児童が図書室に足を運んでくれることを願っています。

秋の夜長、ご家庭でもお子さんと一緒に本の世界に浸る時間をつくってみてはいかがでしょうか。